

■生き方やつながりを考えよう（新堂中学校）

1 【活動の趣旨】

地域の方を中心に講師を招いて様々な内容で講演をしていただいたり、フィールドワークや地域清掃を通して地域の一員であることを感じたりすることで、自らの生き方や社会とのつながりについて考える。

2 【特徴的な活動内容】

- 「進路学習 ～『働く』ことについて考える～」
2年生で、キャリア教育の一環として6つの職業の講師の方にお話を聴き、実際に体験をすることで「働く」ことについて具体的に考えた。
- 「地域清掃活動 ～ごみのない美しい町へ～」
2年生で、地域へ出かけてのごみ拾いを通して、自分の住む地域を大切に思い、地域の一員であることを自覚した。
- 「校区探検 ～テクテク探検隊!! 新中 WALK!!～」
1年生で、班でコースを決めて校区内を徒歩でまわり、地域の歴史や文化に触れ地域の素晴らしさを再発見し、学習したことをまとめた冊子を作った。また、探検中に発見した危険箇所を、3年生でのよりよいまち作りのプレゼンにつなげていく。
- 「読み聞かせ ～常盤の民話や昔話～」
特別支援学級で、常盤学区の民話や昔話を自作の紙芝居にしておられる方を招いて、その紙芝居の読み聞かせをしていただいた。自分たちの住む地域の昔の様子を知ることができた。



【職業講話 消防】



【校区探検 インタビュー】



【校区探検 危険箇所】

3 【実施に当たっての工夫】

校区探検では、映え写真コンテストや俳句コンテストを実施し、プロのカメラマンや保護者にも審査に協力してもらった。進路学習では、実際に体験をすることで、「働く」ことをより身近に感じ具体的にイメージできるようにした。校区探検や地域清掃活動では、生徒の学びや取り組みを公共施設と連携して地域に発信した。



【読み聞かせ】

4 【事業の成果】

地域の方や講師の方と積極的に交流をしたり、質問をしたりしていた。これらの学びや取り組みを通して地域の良さを再発見し、地域の一員であることを自覚した。また、自分たちの学んだことや伝えたいことを発信する力を身につけた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

コロナ禍を経て、取り組み内容の変更を余儀なくされたが、少しずつ日常が戻りつつあり、新堂中学校として今後どのように取り組んでいくか考えていく必要がある。